

# 2011年ISPAコスタルコース航海記

8月6日～13日 バンクーバー・ガルフアイランド



文・写真 岡田 泰三

## 最終日の泊地(ガンビーアイランド・センターベイ・マッケンジーコーブ)からの絶景

横浜ベイサイドマリーナではISPA第4回コスタルコースとして世界有数のクルージングスポット、カナダ・バンクーバー・ガルフアイランドを1週間に渡りクルージングしてきました。その模様をお伝えします。参加者は生徒5名、互(わたる)さん(48歳、10年12月コンピテント)、耕士(こうじ)さん(44歳、10年12月コンピテント)、孝太郎さん(63歳、11年4月コンピテント)、知子(ちこ)さん(ファンクルーズとして参加)、申明(のぶあき)さん(65歳、ファンクルーズとして参加)。そしてインストラクターとして私(岡田)が同行しました。



最終日ハウサウンド沖を帆走。メインランドの山を望む



最終日バンクーバーダウンタウンに向けて走る



8月5日(金)1000バンクーバー空港に到着。曇り、寒い。今年は例年になく寒いと言う。時差ぼけを直すべくホテルに入って休息。夕方孝太郎夫妻、耕土さんらと合流しボブさんと夕食をとる。

8月6日(土)曇り午後から晴れたり曇ったり。お昼ごろ伸明、互さん到着。ギリシャ料理屋で昼食後、ボートイントロダクション(ヨットの説明・確認)を済ませ食材の整理。夕方鮮魚を求めてグランビルアイランドへ。アサリ、魚などを購入。ヨットに戻って給水、テンドーに空気を入れて固縛。夕食はいエールタウンまで歩いてステーキを食べる。

### 8月7日(日)クルージング1日目。快晴。朝晩は寒い。

#### バンクーバー→モンタギューハーバーまで38マイル。

0600起床、ホットドックにコーヒー。0700ヘルム耕土で出港。北西の風12ノット、グレイポイントを過ぎると15~16ノットに上がりセーリング開始。ヘディング180M(マグネット)、スターボードタックのビームリーチ、6.5ノットでストレートオブジョージアを快調に走る。猛暑の日本から来た者にとっては涼しくて気持ちがいい。知子さん船酔いする。

4時間半のセーリングでポリーエパス通過。ガルフアイランドに入ってから南東風に代わり落ち始める。機帆走に切り替えモンタギューハーバーへ。近くには同じ目的地に急ぐヨットが3艇くらい見える。1415モンタギューハーバーに到着するが、ムアリングはすでにいっぱい。湾内にアンカリングするか、外側のサンセットビーチに移動するかを選択に迫られる。

風は弱い南風、夜も南風と読んで、知子さんの「サンセットビーチがいい」という一言もあって西側のサンセットビーチに即決。上陸もしたいというのでサンセットビーチ奥の一番岸よりを選んでバウアンカー、スターンを陸の木に取る。一休みしてからテンドーで上陸。モンタギューマリーナまで散策。道の両側にはブラックベリーがたくさん実っており、時々味見をする。帰り際テンドーで上陸してきたご外人夫婦が我々に、あなた達のアンカリングの仕方はベストだとほめてくれた。サンセットビーチ側には15艇くらいの船が止まっているが、わが艇以外は振れまわしのアンカリングであった。ちょっと嬉しくなる。ディナーは耕土さんのアクアパッサ。鮮魚を野菜と一緒に煮付けたもの。とてもおいしく仕上がる。みんな満足。夜は満天の星。



今回の参加者が集合



ストレートオブジョージアを北西15ノットの風を受けて快走



ガルフアイランドの中をセーリング



ジブトリムする耕土さん



ヘルムを取るの孝太郎さん



3 気持ちよくヘルムを握る伸明さん



知子さんは初の海外クルージング



サンセットビーチから眺める夕陽、ゆっくりと流れる至福の時間を楽しむ



ポリーエバスをセーリングで渡る



メインランド側の景色



泊地のモンターギュールハーバー



写真を撮る互(わたる)さん



パウアンカー、スターンを陸に取る



サンセットビーチに上陸



スターンもやいを陸に取ったところ



大好評だったアクアパッサ料理

**8月8日(月)クルージング2日目。曇り、寒い。モンタギューハーバー→ビクトリアまで38マイル。**

潮が悪く、0900ごろから上げ潮になるので早起きして出かける。0530起床して直ぐ出港。風は弱い東風、機走で快調に走る。オイルスキンを着ないと寒い。強い上げ潮を予想されるのでシドニーアイランドの西側、岸よりのコースを取る。何とか潮を避けられたようで1350ビクトリアに到着。ようやく晴れて暖くなる。エンペレスホテル前のパブリックドックにドッキング。いつもいっぱいなのに今日はすいている。ドッキングも楽であった。昼食はスパゲッティ。夕食はレストランでサーモンバーガー。係留代金C\$62.16(5,160円)。

**亙さんがご機嫌にヘルムを握る**



**早朝静かな海面を出港し南下開始**



**ひっきりなしに通るフェリー**



英国女王が宿泊すると言うエンペレスホテル前にドッキング



素晴らしい綺麗なビクトリアハーバー



ハーバーの中に水上飛行機が着水



ホエールウォッチングの船



ビクトリア港入口の灯台



港の中はローカルルール、ブイの右側を通過する



潮が早いところには標識が

**8月9日(火)クルージング3日目。曇り、寒い。ビクトリア→ポートランドアイランドまで30マイル。**

朝から寒い。0700起床。おくらマヨネーズあえ、たまねぎスライスサラダ、ご飯に味噌汁、メロンまで付くという贅沢な朝食となる。給水をして0910出港。港を出ると8ノットの南風ありビームリーチで東へ。上げ潮に乗って6ノットで走る。そしてハローストレートを北上する。2時間の素晴らしいセーリングができる。1100ころから風がなくなり機走でポートランドアイランドへ。1300ころから晴れて風に恵まれセーリング。島と島の間をセーリングで抜けるというガルフアイランドの醍醐味を満喫する。

1515ポートランドアイランドの南にあるプリンセスベイにバウアンカー、スターンを陸に取る。早速上陸して北側にあるロイヤルコウブまで散策。昼は走りながらの焼きそば。夕食は鶏肉のしょうが焼き。



南の風、東に向ってビームリーチで走る



途中の島にはよく目立つ灯台がある



後方からスピンを上げたヨットが一輪に走る



ランチの焼きそばを走りながら食べる



海鳥の糞で真っ白になった島



島と島の間をダウンウインドセーリング



美しい島が次々と見えてくる



ポートアイランドのプリンセスベイにアンカリング



陸の木にもやいをとって tender で帰る



アンカリングして早速ビールでカンパイ



ビーチには流木がたくさん



島の南から北端まで森の中を散策

**8月10日(水)クルージング4日目。曇り、寒い。**

**ポートランドアイランド→テレグラフハーバーまで27マイル。**

今日は途中シュメイナスによって昼食を取るのので早く出港することに。0830アンカーを揚げて出港。曇り空ながら風がないのでさわやかだ。南東から8ノットの風があるのでセーリングするも1時間で風が落ちて機走に。1240シュメイナスにドッキング。2時間の滞在で壁画の町を観光と買出し。係留費はC\$6(500円)。

1440シュメイナスを出港してテレグラフハーバーへ。1時間で到着。ここには二つのマリーナがあり、一番奥には品のいいテレグラフハーバーマリーナがあり、手前にはパブはあるが地元の人たちが出入りするテティスアイランドマリーナがある。テレグラフハーバーマリーナはいつも込んでいて入れないときが多い。この日はラッキーなことにすいておりドッキングすることができた。

テレグラフハーバーマリーナは全てが外来専用ドックになっており、敷地の中もきれいに整備され、ショップ、ランドリー、シャワー、広いバーベキューテラス、キャンプ場などがあり、どことなく気品がある。男性一番の人気スポット。



**デイビーコンのやぐらの上に白頭鷲が**



**曇って寒いが絶景を見ながら出港する**



**出港して1時間だけセーリング**



シュメイナスでランチ



かわいくてお洒落なレストランを見つける



シュメイナスの港はほんとに小さい



大きなスープとキッシュ、極旨



テレグラフハーバーマリーナにドッキング



テレグラフの桟橋でパチリ



左側にテレグラフハーバーマリーナ、右はテティスアイランドマリーナ

## 8月11日(木)クルージング5日目。

**晴れ、比較的暖かい。テレグラフハーバー→ナナイモまで31マイル。**

0700に起きて参加者はテンダーで「ザカット」を探検に出かけるがすぐにもどってくる。干潮なので干上がって通れないと言う。朝食はジャガイモとベーコン。1000出港すると風は東6ノット。寒いような暖かいような感じ。機走でパイレーツコーブへ。1200パイレーツコーブに到着。最干潮なので超微速で入港する。

晴れて穏やかなので真ん中にアンカリング。ランチはシーフードパスタとなる。1420出港してドッドナロウへ。今年も集まってくる船が少なく楽に通過できる。1620ナナイモのニューキャッスル沖へ。着いてびっくり、ムアリングのブイが一面にある。昨年まではアンカリングだったのに今年は全てムアリングになっている。アンカリングをしてはいけないと書いてある。海底がアンカリングで傷つけられたのでこのようになったようだ。料金はC\$12(1000円)

一休みしてから上陸してニューキャッスルマリナーパークを散策。この島も島全体がマリナーパークになっていて団体客の研修施設、キャンプ場も備わっている。夕食はステーキ。



たくさんの船がスラックタイムを狙ってドッドナロウ通過してゆく



ドッドナロウを抜けてナナイモに向う



出港前に給水



アメリカのヨットと行き交う



1艇しか通過できない超狭い水路のパイレーツコーブ



パイレーツコーブの中は結構広い最適な泊地



ニューキャッスル島の真新しいムアリングブイ



ムアリング完了してほっと一息、笑顔がいいね



ニューキャッスル島から泊地を見る



島全体が公園になっている

**8月12日(金)クルージング6日目。晴れ、さわやか。ナナイモ→ガンビーアイランドまで31マイル。**

0700起床。朝食は昨日シュメイナスで買ったワッフルにクロワッサン、それにツナサラダ。0845出港。北側のマリーナ郡を抜けてストレートオブジョージアへ。北西の風15ノット、直ぐにセーリング。ビームリーチでハウサウンドに向ける。4時間の快調なセーリングで海峡を渡る。

1330ハウサウンドに入りセールを下ろして雄大な景色を見ながら昼食とする。亙さんが日本から持ってきた讃岐うどんを暖かいものと、冷たいもの両方で楽しませてくれる。

1625ガンビーアイランドのセンターベイ、そのマッケンジーコーブにバウアンカー、スターンを陸の木に取る。3回目のアンカリングだったのでみんなてきぱきとスムーズにこなす。耕土さんは泳ぐ。夕食はサーモンステーキ、そして焼きりんごのデザート。



**最終泊地ハウサウンド・ガンビーアイランド・センターベイ・マッケンジーコーブ。バウアンカー、スターンを陸の木に取る**



**ニューキャッスル島の泊地**



**ナナイモを後にする**



北西のいい風を受けてストレートオブジョージアを東へ快走する



私が作った焼きりんご



ハウサウンドをのんびりセーリング



セーリング開始



マッケンジーコープで最後のカンハイ



マッケンジーコープからの絶景

**8月13日(土)クルージング7日目。曇り、寒い。ガンビーアイランド→バンクーバーまで17マイル。**

クルージング最終日は0700起床、パンと豪華な野菜スープ。0900出港、南の風が吹いているので直ぐにセーリング。ハウサウンドを抜けるまで2時間のクローズホールドのセーリング。島を回り込んだところで20ノットの南風に見舞われ機走でスナッグコーブへ。1200コスタルコースでは初めてスナッグコーブに立ち寄りランチをすることに。ハリバットのフィッシュ&チップスを楽しむ。

1300スナッグコーブを出港すると南東の風が20ノット吹いている。ジブをNO3までリーフして6ノット平均ののぼりの帆走となる。そこから3時間のビーティング。カミングアバウトを繰り返しながらイングリッシュベイを快適に走る。非常に満足できる走りを楽しむ。1525バンクーバーに無事ドッキング。

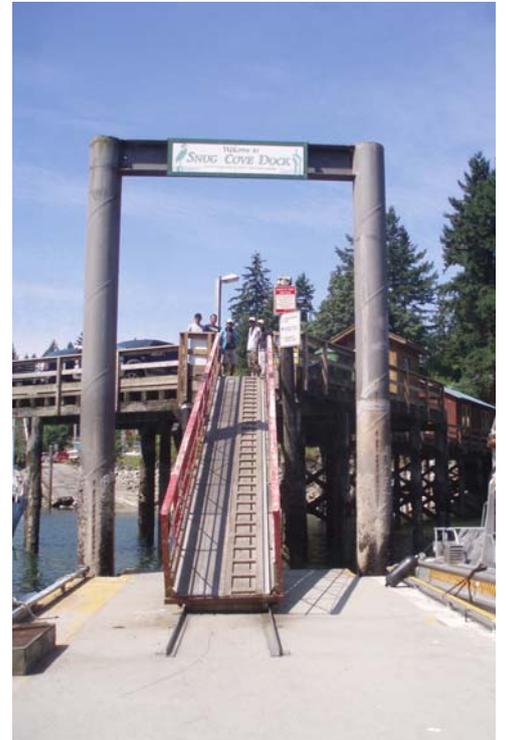
7日間のコスタルコースは無事修了した。参加者のよかった場所を聞いてみると、知子さんは初日のモンタージュハーバーのサンセットビーチがよかったという。亙さんはポートアイランドマリーナのプリンセスベイ、耕土さんはビクトリア、孝太郎さんと伸明さんはシュメイナスが良かったという。参加者全員がバンクーバーのクルージングを十分に堪能し、勉強することができたようだ。



最終日は1日中いい風が吹きダイナミックな帆走を楽しむ



バンクーバーまで通勤圏内のスナッグコーブ



潮が引いてタラップは急である



ハウサウンドの景色



スナッグコーブのお店



セーリング



風下にはフェリーがいる



最後のヘルムは知子さん



正面にダウンタウンが見える



メインラウンドの山々を見ながらの帆走